



題字 井口 文章
再刊 第388号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2022

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面:「急」となる3日目の様子を届け
春季球大、白熱の決勝戦
二面:球大優勝チームのMVPに
喜びの声を聞く

歓声響き渡る最終決戦

春季球技大会幕を閉じる

5月30日(月)から6月2日(木)にかけて、3日間にわたる日程で春季球技大会が行われた。雨天による2日目のスケジュールの延期もあったが、1年ぶりの球技大会とあってどの試合も白熱した。今号では3日目の決勝戦を始めとした熱戦の様子をお届けする。

男バレー決勝 3C対3E

強い日差しと大勢の観客に見守られながら始まった3C対3Eの決勝戦。まずは強烈なスパイクを決めた3Eが先制点をもぎ取る。



強烈なスパイクを放つ3C

女バレー決勝 2D対2H

女子バレーボールの決勝戦となった2D対2Hの試合は、最後まで互いに主導権を握れぬ大接戦となった。

その後3Eが怒涛の攻撃を続けるが、3Cも負けじと素早い攻撃を繰り出して追い上げていく。この勢いのまま3Cが逆転し、第1セットは15対11で3Cが獲得した。そして迎えた第2セット。後がない3Eは何度も強烈なスパイクを放つが、3Cも意地を見せ、次々とボールを返していき、両者一歩も譲らない展開となったが、最後は3Cが決め、15対12で3Cが優勝を手にした。

サッカー決勝 1E対3J

サッカーの対戦カードは1E対3Jだった。決勝前には伝説だという1発ギャグをサッカー部が披露。試合前半は1Eがペースをつかみ、コーナーキック後にボールを押し込んで先制。その後3Jが裏を狙って攻めるもゴールを奪えず。1対0で1Eがリードで前半を終える。

トッポ決勝 1B対3C

女子トッポボール決勝は、主審1名・線審6名という特別な審判体制の下でゲームが行われた。両クラスともに鋭い球が飛び交い、数秒毎に脱落者が出る展開に。

女バス決勝 3I対1D

3I対1Dの対決は両クラスともにクラス全員で陣を組む、士気をあげてから始まった。3Iが先に得点し、続けて得点を加えた。1Dはシュートを打つ機会もなかなか決まらずに第1ピリオドは終わった。



サーブを打つ2D



シュートを放つ1D



全力でボールを投げる3C

男バス決勝 3K対3J

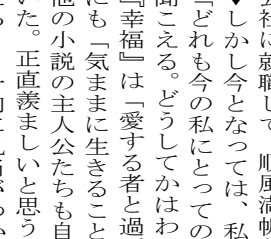
男子バスケットボールの決勝戦では、3Jと3Kの激戦が繰り広げられた。第1ピリオドは3Kの猛攻を3Jが凌ぐ展開となる。どちらもシュートを決められない時間が続くが、3Kのスリーポイントシュートが均衡を破る。さらに3Kがシュートを決めて突き放す。3Jも食らいついてスリーポイントシュートを決めるも、3Kのリードで第1ピリオドが終了。



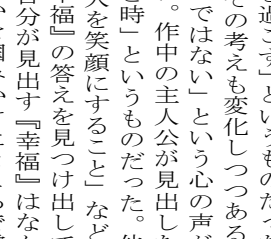
ゴール前の激しい攻防



拍手を浴びながら表彰を受ける



迫力の攻防!



クラスを越えて



気迫溢れるヘディング!



狙いをすまして...



クラスでピース!!

3日間を振り返る! 球大ハイライト

円陣で団結!

迫力の攻防!

クラスを越えて

球技大会実行委員長の小手川悠大さん(3J)は春季球技大会を振り返って「昨年の秋季球技大会が開催できなかったのが、今回開催できたことがまず良かったです。また、最後までみんなで楽しく球技大会を行うことができたこととても良かったです」と話



さらなる改善を誓う小手川さん

秋季大会に向けての決意を語る

にミスがあり、運営が円滑に進まなかった。秋季球技大会では改善したいです」と語る。今回の秋季球技大会に向けては「今回の春季球技大会での反省点を活かして、運営を円滑に進めたいです」と意気込む。また、秋季球技大会では敗者復活戦が無くな

り、所属する部活動による制限が1年生にもかかるようになるという。そのため小手川さんは「春とはやり方が変わり、混乱する人もいいると思います。正確な情報を全校生徒に周知し、今生徒間で共有されている誤解を訂正しながら、混乱が生まれないようにしていきたいです」と、秋季球大をさらに良いものにする決意をした。(紫)

帯が続く。後半には1Eがフリーキックからゴールを狙ったり、3Jがスローインからチャンスを作ったりするが、

勢いそのまま1Bが勝利を掴み取った。

閉会式は、開会式と同様に校庭で行われた。種目別、学年、総合のそれぞれの優勝の表彰が校庭で行われ、健闘を称える拍手に包まれながら幕を閉じた。阿部一郎校長先生は感動した試合をいくつか挙げた。

なれば今考えてほしい。皆さんはどのような『幸福』を見出したのだろうか? クラスメイトの中では「楽な生活を送ること」や「夢をかなえること」、「楽しい時間」などという意見が上っていた。当時の私の考えは「良い大学に入って、いい会社に就職して、順風満帆な人生を過ごす」というものだった。しかし今となつては、私の中でその考えも変化しつつある。

『幸福』は「愛する者と過ごす時間」というものだった。他に『幸福』は「愛する者と過ごす時間」というものだった。他に『幸福』は「愛する者と過ごす時間」というものだった。他に『幸福』は「愛する者と過ごす時間」というものだった。

むらさき草

三秋組の『三日間の幸福』という本を読んだ。あらすじは「冴えない主人公が、自分の寿命を売れる怪しい店に出会った。自分の人生の査定額に絶望した男は残りの人生が3か月になるまで売り、その時間を有意義に過ごす」というものだ。この本を読んで、小学校の頃に受けた道徳の授業を思い出した。授業内容は『幸福』について。皆さんは自分の『幸福』について考えたことはあるだろうか? なければ今考えてほしい。皆さんはどのような『幸福』を見出したのだろうか? クラスメイトの中では「楽な生活を送ること」や「夢をかなえること」、「楽しい時間」などという意見が上っていた。当時の私の考えは「良い大学に入って、いい会社に就職して、順風満帆な人生を過ごす」というものだった。しかし今となつては、私の中でその考えも変化しつつある。

春季球大MVP

2022年

今年度初の全体行事が行われ、3日間にわたって春季球技大会が行われた。今号では、チームを優勝に導いた各競技のMVPを紹介する。
(編集部共同取材)

男バス 三好智陽さん(3K)



チームメイトに感謝です

男子バスケットボールMVPに選ばれたのは、三好智陽さん(3K)。チーム内でメリハリのある戦術を立てた結果、決勝では点差を付けて勝利することができたという。
昨年の球技大会でもバスケットに出場したという三好さん。しかし、チーム内でディフェンスを徹底できず、悔しい思いをしたようだ。「その経験も活かし、今回優勝することができたので素直に嬉しいです」と語った。
そして三好さんはチームで立てた戦術の中で、最も重要視されていたリバウンドをとるという役割をし、チームのピンチを救ってきたことがMVPに選ばれた理由ではないかと話す。チームメイトに対しては「バスケット部の友達的確な指示と、その指示を信頼してしっかりプレーしてくれた仲間たちに感謝した

いです」と語った。
秋季球技大会に対しては「どの競技に出場してもチームのムードが良くなるプレーをし、また優勝したいです」と意気込んだ。(甘)

女バレ 吉川佳凜さん(2D)



優勝し笑顔でインタビューに答える

女子バレーボールのMVPに選ばれたのは吉川佳凜さん(2D)。「みんなの応援のおかげで優勝することができました。本当に嬉しいです」と語る。
吉川さんの印象に残った試合は「全部です。どの試合も点数がギリギリだったので全てが強く記憶に残っています」と話す。3年生との試合は「さすがだなと思いました。応援も慣れた感じがあって、私たちもこうなりたいと思いました」と振り返る。
吉川さんは自分たちのチームの強みとして個人個人がボールを落とさないようにしようという意識の高さと、応援による雰囲気の高さを挙げた。また「ボールを落とさないために1人がサーブを打ち、残りの5人でつなげるという練習をしました」と話す。他にも3対3のミニゲームでの練習をはじめとした多様な練習が勝利につながったと振り返った。

次回の秋の球技大会に向けては「今回の球技大会で、クラスの団結力を高めることができましたと思います。秋の球技大会では、どの種目になっても、さらに団結力を高めて全力で戦いたいです」と話した。(珠)

女バス 山本倭愛さん(3I)



「秋の球大は総合優勝したいです」

女子バスケットボールMVPに選ばれたのは、山本倭愛さん(3I)。MVPに選ばれた感想を「素直に嬉しいです」と笑顔で話す。決勝戦では3I全体が勢よく相手コートに向かって攻め、シュートを打ちに行く様子が見られた。対戦相手が力強くボールを奪い取り、攻めに来たときは、3Iが自身のコートに入れないように一斉に広がり、力強く守備をして防いだそうだ。球技大会前から休みにチームメイトと練習をしたり、試合前には次の試合の作戦会議をしたという。

また、勝つだけでなく『楽しむ』をモットーに、毎回試合ごとにメンバーを変えて挑んだそうだ。しかし、実際は「負けたくないという気持ちも強かったです」と話す。今回一緒に戦ったチームのメンバーに向けては「このチームで試合に出られてよかったです」と話した。またクラスメイトには「応援の力がなかったらここまで勝ち進むことはできませんでした。応援ありがとうございました」と感謝の言葉を送った。(歩)

勝ち進むことはできませんでした。応援ありがとうございました」と感謝の言葉を送った。(歩)

ドッジ 大島 遥さん(1B)



「わたしたちの強みはチームワークです」

女子ドッジボールのMVPに輝いた大島遥さん(1B)は、決勝戦での対戦相手が3年生で不安を感じていたが、優勝することができて良かったと語る。MVPを獲得したことについて「MVPに選んでもらえるくらいチームに貢献できたので、うれしいです」と笑顔。大島さんのチームは、特別な練習をほとんどしなかったものの、上級生との試合でも見事に勝ち進んできた。「私たちの強みはクラスが一丸となって盛り上がり、無限大のやる気を見せられるところです」と楽しげに話す。決勝戦での大島さんは、力強くボールを投げて次々と相手選手にボールを当てていく姿が見られ、観客からは声援が上がった。大島さんが今大会の中で最も印象に残っているのは1Hとの第2試合。同じ1年生でありハンドボール部に所属している生徒もいたそうで「負けて悔しい思いをしたくないと緊張していましたが、強みのチームワークを発揮し、勝てたときの達成感と喜びは忘れられません」と話した。秋季大会に向けての目標は「今大会では参加できなかったバレーボールで1Bのチームワークを出し切れるように頑張りたいです」と力強く語った。(鋼)

が、強みのチームワークを発揮し、勝てたときの達成感と喜びは忘れられません」と話した。秋季大会に向けての目標は「今大会では参加できなかったバレーボールで1Bのチームワークを出し切れるように頑張りたいです」と力強く語った。(鋼)

男バレ 青柳和樹さん(3C)



「自分がMVPに選ばれるとは思っていませんでした」

男子バレーボールのMVPに選ばれた青柳和樹さん(3C)に取材した。優勝した感想について青柳さんは「去年のクラスも強いチームだったのですが、1年生のチームに大差をつけられて敗れてしまいました。そこで今年こそは『優勝』と思っていたので、その思いを果たすことができよかったです」と語る。そして「自分がMVPに選ばれるとは思っていませんでした。選ばれて驚きました。とても嬉しかったです」とMVPに選ばれた感想を話した。
印象に残っている場面は3Gとの試合だそう。「2セット目、相手がマッチポイントの時にサーブが自分の番に回ってきた場面です。自分はサーブがとても苦手だったので、とても緊張しましたが、得点することができてとてもうれしかったです」と笑顔。練習は体育の時や昼休みなどの時間に行い、他クラスとも一緒に練習を行ったそうだ。

秋の球技大会の目標について「今回の春の球技大会は男子バレーボール部門で優勝することができたので、秋も優勝して春秋連覇を目指したいです」と語った。(柱)

サッカー 鈴木 翔さん(1E)



MVPインタビューに真剣に答える様子

鈴木さんはサッカーで優勝したことについて「クラスの雰囲気よくなったと思います」と話す。クラスメートの応援も優勝できた要因の1つだと考えているようだ。また、MVPに選ばれて「素直に嬉しかったですが、みんな頑張っていたので、1人に決めなくてもよかったのではないかと思います」と鈴木さん。印象に残った試合は初戦の2Bとの対決だという。「球技大会での初めての試合だったのでとても緊張しました。この対決で試合の感覚をつかむことができました」と鈴木さん。球技大会に向けての練習をしてこなかったという1Eだが、サッカーの経験者は6人おり、鈴木さん自身もサッカー部に所属しているようだ。1Eのサッカーはディフェンスラインからのスルーパスで相手の裏を突く攻撃が強みだという。鈴木さんが試合中に意識していたことはチームメイトとコミュニケーションをとることだと話した。秋季球技大会もサッカーに出場したいという鈴木さん。最後に「秋季球技大会も出場して2連覇を目指して頑張りたいです」と意気込んだ。(紅)

と話した。秋季球技大会もサッカーに出場したいという鈴木さん。最後に「秋季球技大会も出場して2連覇を目指して頑張りたいです」と意気込んだ。(紅)

2022年 春季大会 最終結果 ※×以降は△かー(終了)											
学年	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子
	サッカー	バレー	バスケット	ドッジ	バレー	バスケット	サッカー	バレー	バスケット	ドッジ	バレー
1A	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
1B	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
1C	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
1D	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
1E	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
1F	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
1G	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
1H	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
1I	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
1J	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
1K	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
1L	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2A	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2B	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2C	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2D	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2E	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2F	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2G	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2H	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2I	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2J	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2K	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2L	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
2M	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3A	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3B	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3C	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3D	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3E	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3F	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3G	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3H	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3I	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3J	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3K	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3L	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
3M	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○

- ◇ 1年生学年優勝: B組
- ◇ 2年生学年優勝: H組
- ◇ 総合優勝: 3年J組